

# 令和7年度 第1回 熊取町下水道事業経営委員会 資料

令和7年8月14日

## 熊取町下水道事業

# I. 熊取町の特徴

## 立地・大きさ

立地: **大阪南部(泉州地域に位置)**  
南北: **約7.8km** 東西: **約4.8km**  
面積: **1,724 ha**

## 特徴

町制施行: **昭和26年11月**  
・町花: **ひまわり** 町鳥: **メジロ**  
・自然豊かな環境: **奥山雨山自然公園**  
・町内に4つの大学等:  
**大阪体育大学、大阪観光大学、関西医療  
大学、京都大学複合原子力科学研究所**

## 人口

**42,389人**  
(令和7年3月末時点)

## 特産品

- ・ **農産物(水なす、蒔、玉ねぎなど)**
- ・ **タオル**
- ・ **熊取ブランド「くまとりやもん」<sup>TM</sup>として、  
コロッケやクッキーサンド、  
チーズケーキなどが認定**

「ほほえみ子育て熊取町！」



熊取町マスコットキャラクター  
ジャンプ君



熊取町マスコットキャラクター  
メジロちゃん

## Ⅱ. 熊取町の下水道の特徴

### 熊取町の下水道の沿革

平成元年9月  
公共下水道  
工事着手

平成3年11月  
公共下水道  
供用開始

平成30年4月  
下水道事業に  
地方公営企業法  
適用

令和3年3月  
熊取町下水道ビジョン  
(経営戦略)を策定  
(計画期間:10年)

令和6年4月  
下水道使用料改定

## Ⅱ. 熊取町の下水道の特徴

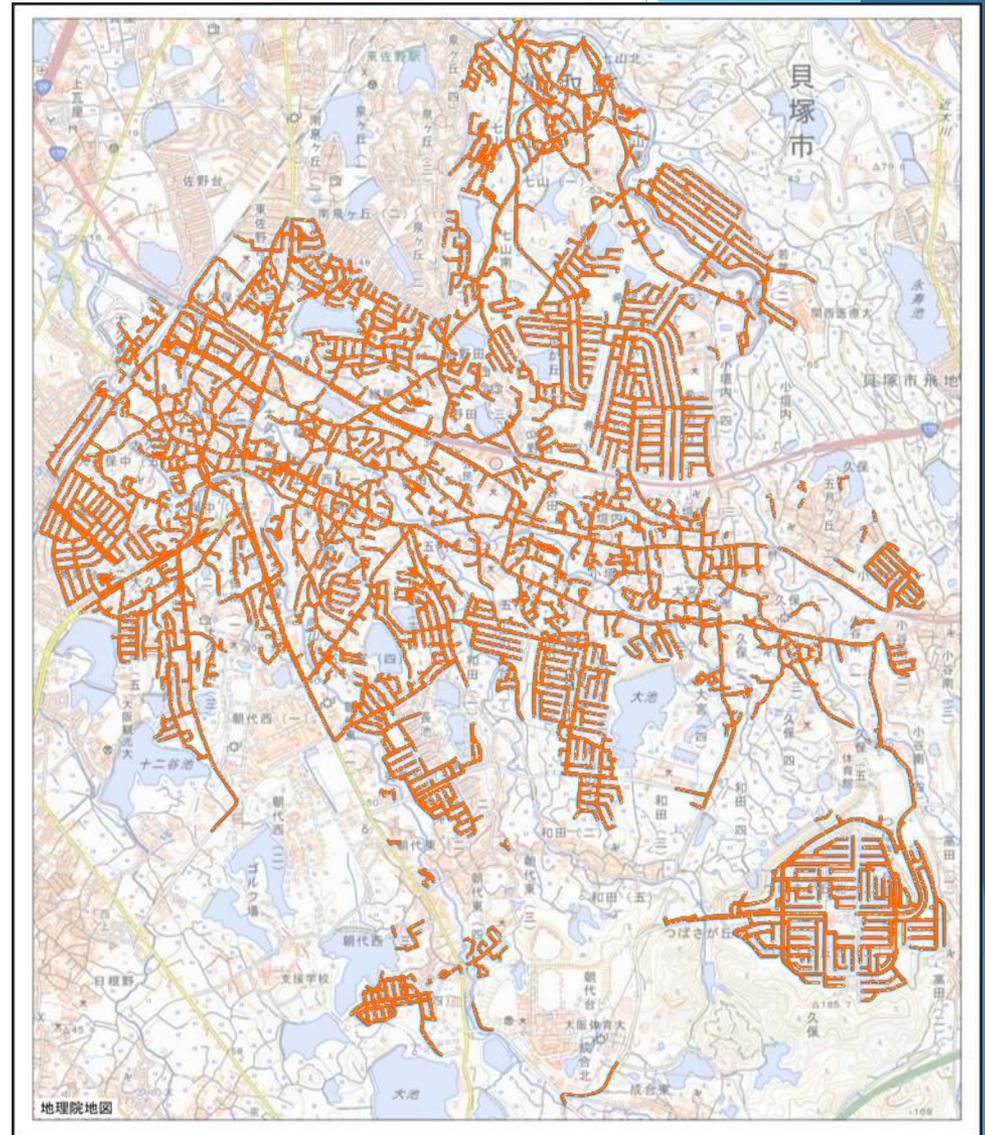
### 普及状況等

(令和7年3月末時点)

- ・整備済区域面積: **646.93ha**
  - ・整備済区域内人口: **36,107人**
  - ・人口普及率: **85.2%**  
(R5末府内平均: **97.1%**)
  - ・水洗化人口: **34,113人**
  - ・水洗化率: **94.5%**

### 特徴

- ・**分流式整備**  
(汚水と雨水を分離して排除)
- ・汚水の処理方法: **流域下水道**
- ・終末処理場: **中部水みらいセンター**  
(貝塚市)



※上図は令和5年度末時点での整備区域図

# Ⅲ. 熊取町下水道ビジョン（経営戦略）

## 策定当初の課題

- ・町人口の減少及びそれに伴う有収水量の減少
- ・未普及地域への普及拡大
- ・施設の老朽化対策
- ・災害対策・危機管理体制の充実
- ・技術の継承・人材の育成
- ・下水道施設増加への対応
- ・財政状況の把握と改善
- ・広域化、連携化による経営改善



# Ⅲ. 熊取町下水道ビジョン（経営戦略）

## 計画概要

・下水道事業の今後10年間（令和3～12年度）の事業方針等を定めた中期計画

・3計画を1つにまとめた計画

⇒維持管理に係る「**ストックマネジメント計画**」

⇒下水道整備に係る「**整備計画**」

⇒事業運営の財政に係る「**経営戦略**」

・『住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちを支える下水道』の実現を目指す



計画中間年度（令和7年度）に見直しを実施する

# Ⅲ-1. ストックマネジメント計画

項目		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
管渠	一般環境下	実施方針		点検調査 TVカメラ：5,697m 管口カメラ：5,180m		修繕・改築計画 427m	改築実施設計 427m	改築工事 427m			点検調査		
	腐食環境下	実施方針		点検調査 管口カメラ：41箇所 820m		修繕・改築計画 40m	改築実施設計 40m	改築工事 40m	点検調査 管口カメラ：41箇所 820m	修繕・改築計画 40m	改築実施設計 40m	改築工事 40m	
マンホールポンプ施設		実施方針		改築工事（38箇所）									

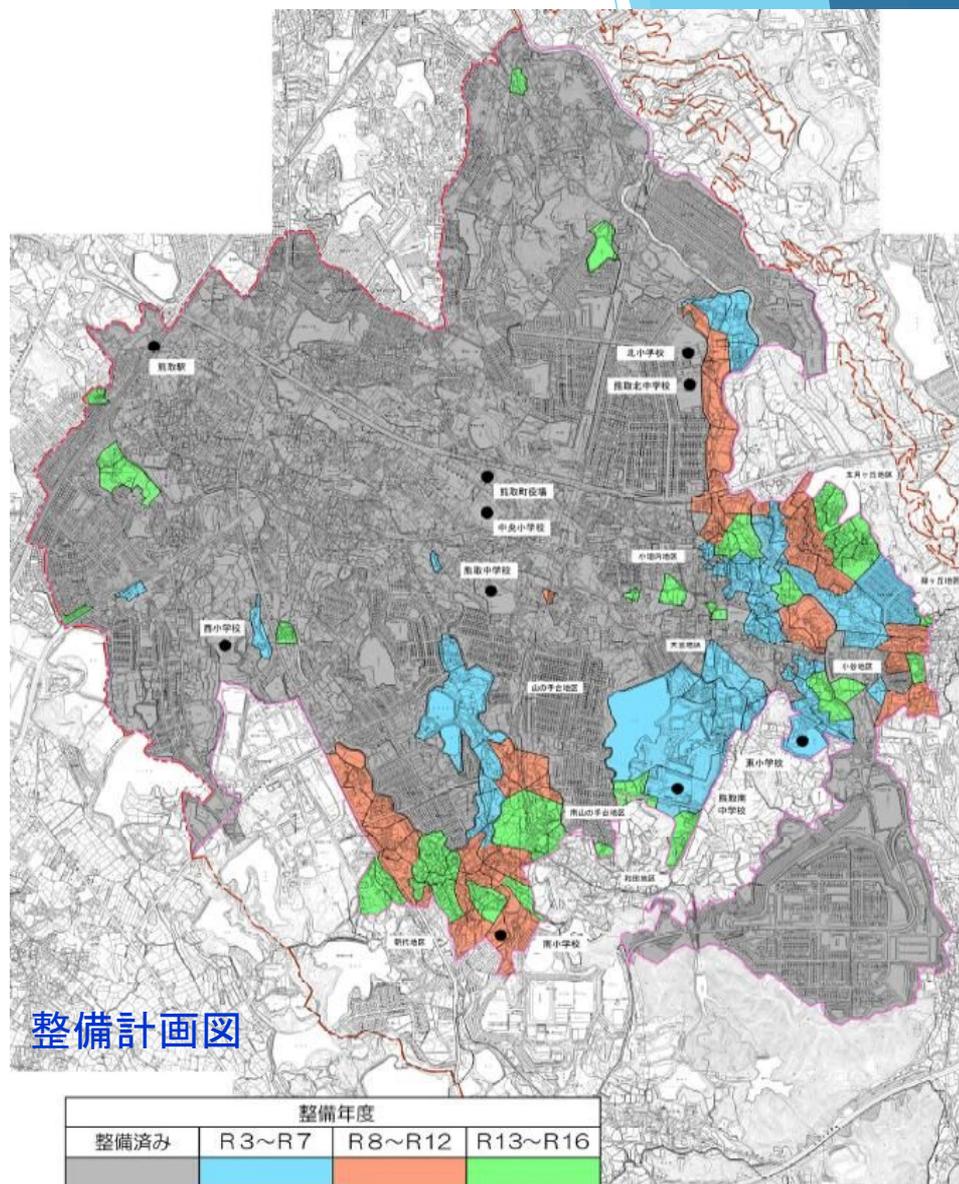
- ・ 構築後経過年数及び被害発生時の影響規模から町内下水道施設のリスク評価を実施
- ・ リスク評価を踏まえ、点検調査実施箇所や不具合発見時の修繕・改築のスケジュールを設定
- ・ 令和3～4年度の点検調査においては、修繕・改築が必要な箇所はなし

## Ⅲ-2. 整備計画

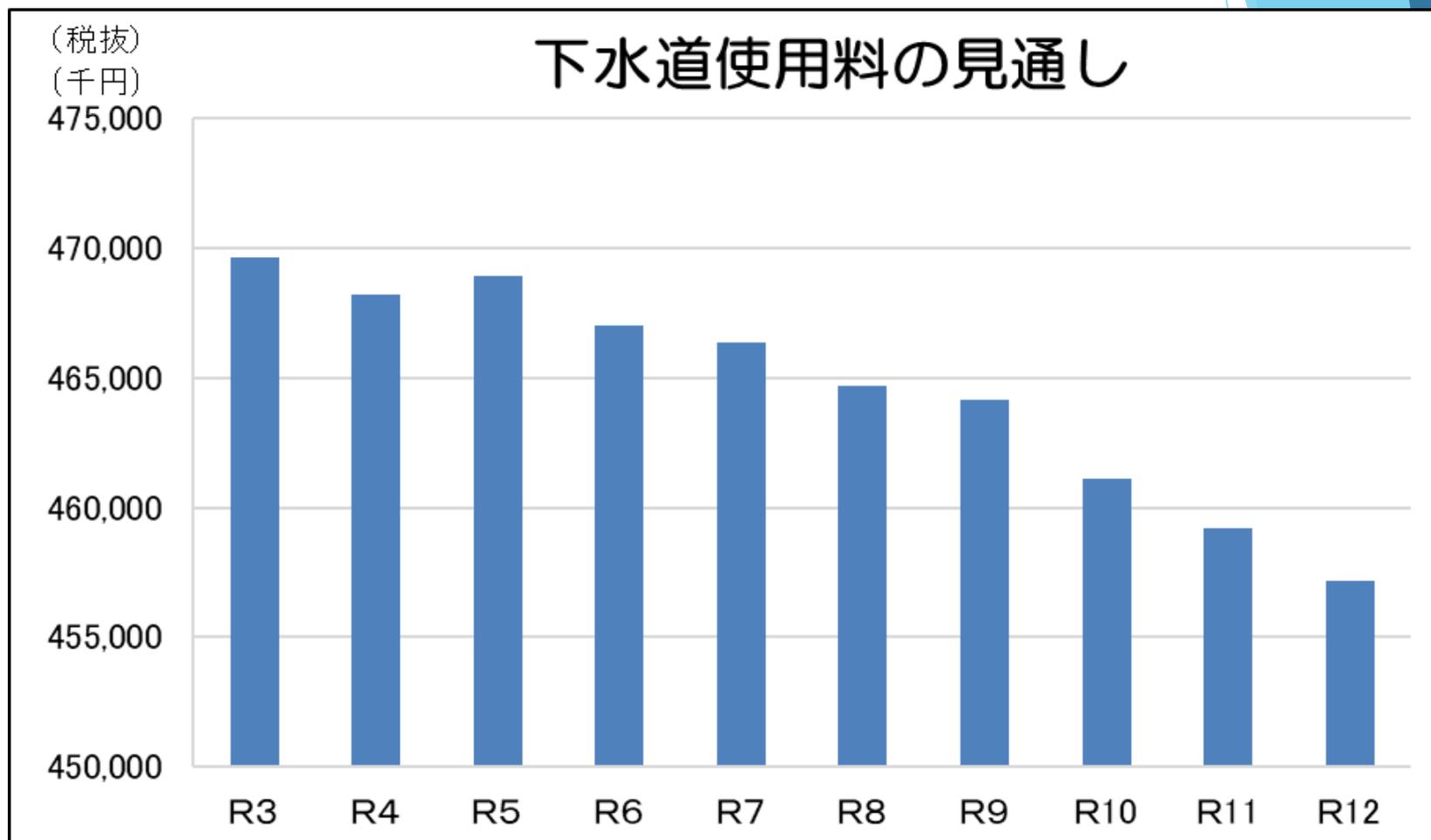
### ① 計画概要

- ・ 令和3年度以降から5年ごとに整備年度を着色
- ・ 令和7年度までに、東小学校、熊取南中学校を整備、令和12年度までに南小学校を整備する計画
- ・ 個別地区については、現在継続して整備している小垣内、大宮、久保及び朝代地区に加え、新たに和田、小谷、五月ヶ丘及び緑が丘地区についても整備をおこなっていく計画

年度	事業費(千円)	整備延長(m)
R3	341,471	1,088
R4	346,053	1,705
R5	530,090	1,069
R6	443,455	1,829
R7	467,172	1,695
R8	478,824	2,071
R9	476,750	2,223
R10	479,432	1,712
R11	469,481	2,140
R12	475,508	2,447
R13	496,536	2,185
R14	472,798	2,464
R15	378,740	1,616
R16	223,601	492
合計	6,079,911	24,736



## Ⅲ-3. 経営戦略



# IV.下水道ビジョン策定以降の変化・課題

## ① 施設の維持管理の増加

令和7年1月発生 of 埼玉県八潮市道路陥没事故をはじめ、全国的に下水道施設等の公共構築物が耐用年数を迎えており、維持管理及び施設更新の重要性があらためて高まっている。

⇒ 本町では大口径の雨水・污水管が少なく、令和7年8月現在において耐用年数(50年)を経過した施設も多くはないものの、定期的な点検調査等を継続し、施設の安全性を確保していく必要がある。

## ② 雨水対策の着手

近年の雨水災害の状況を踏まえ、本町下水道事業においても、町全体の雨水対策計画の検討・策定や、雨天時の流域下水道への浸入水対策に取り組む必要がある。

## IV.下水道ビジョン策定以降の変化・課題

### ③ 各種費用（人件費・材料費・燃料費等）の増加、財源（国補助金）の減少

下水道ビジョン策定当初の想定以上に、各種費用が増加している。一方で、事業運営の貴重な財源の一つである国補助金の内示率が年々減少しており、事業の安定継続に向け、収支バランスを再度確認・検討する必要がある。

### ④ 下水道使用料改定による収入の確保

令和6年4月に下水道使用料の改定を行い、一時的に収支の改善を達成しているが、当初の予定より1年間延伸しての改定であったことや、有収水量が今後も減少傾向にあることを考慮すると、予断を許さない財政状況にある。

以上を踏まえ、新たに必要性が生じた事業に計画的に着手しつつ、収支の動向を時点修正し、そのバランスを保てるような効率的な事業運営を実現できるよう、下水道ビジョンの中間見直しを行う必要がある。

## V. 今後の予定（案）

### ①令和7年11月 第2回会議

#### 議題予定（案）

- 将来収支のシミュレーション結果について
- 事業方針の検討について

### ②令和8年1～2月 第3回会議

#### 議題予定（案）

- 熊取町下水道ビジョン（経営戦略）中間見直し素案について

### ③令和8年2月 議員全員協議会報告

ご清聴ありがとうございました

＼ふたりに「クマ♥トリ」よろしくね!／



ジャンプ君



メジーナちゃん

クマのジャンプ君とトリのメジーナちゃん

年度・年月	国の下水道事業に関する主な出来事
令和3年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「新下水道ビジョン」(令和3年4月)策定</li> <li>■ 地球温暖化対策計画の下水道分野削減目標を改定</li> <li>■ 水防法改正に伴い、雨水管理総合計画の策定が制度化</li> </ul>
令和4年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「新下水道ビジョン加速戦略」の改定</li> <li>■ 下水道技術ビジョン・ロードマップの見直しで、カーボンニュートラル実現に向けた技術開発を強化</li> </ul>
令和5年度 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 耐震化・耐水化の推進を継続し、災害対応力強化を図る</li> <li>■ 政府が「PPP/PFI推進アクションプラン」で上下水道分野のウォーターPPP創設を正式表明</li> </ul>
令和6年度 (2024)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 能登半島地震の教訓を踏まえ、上下水道施設の耐震化・災害対応力強化を重点課題に設定</li> <li>■ 下水道BCP(業務継続計画)策定の実効性向上に向けた検討を推進</li> <li>■ 水道事業に関する行政機能が厚生労働省から国土交通省および環境省へと移管</li> </ul>
令和7年1月 28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 埼玉県八潮市中央一丁目交差点で下水道管破損による道路陥没事故発生。トラック1台が巻き込まれ、約120万人に下水道使用自粛要請</li> <li>■ 国土交通省は事故を受けて「大規模道路陥没事故対策検討委員会」を設置し、管路点検手法や管理体制の見直しを開始</li> </ul>
令和7年度 (2025)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ウォーターPPPの具体化を令和13年度までに100件目標に掲げ、官民連携による下水道施設の維持管理・改築を推進</li> <li>■ 脱炭素化推進のため、上下水道施設への再生可能エネルギー設備導入支援を強化</li> </ul>